

## 第60回日本公衆衛生学会総会学会長に就任して

第60回日本公衆衛生学会総会学会長  
香川医科大学人間環境医学講座  
衛生・公衆衛生学教授  
實成文彦

2001年の新春を迎えまして、日本公衆衛生学会会員の皆様方には、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

このたび、2001年（平成13年）秋の第60回日本公衆衛生学会総会を香川の地にて行うこととなりました。昨年秋の第59回総会におきまして、次期学会長にご指名いただき身に余る光栄に存じます。

第60回総会の開催にあたっては、これまでに香川県、高松市、県医師会、香川医科大学、香川大学、香川県立医療短期大学その他の関係諸機関、団体と協議し、実行委員会を設立して準備を進めているところでございます。昨年の群馬総会の成功をうけまして、本年の第60回総会も、参加いただく皆様方にご満足いただき、今後の研究や実践活動に生かさせていただくようなものとなるべく、関係者一同鋭意努力いたしたく存じております。

総会メインテーマを「21世紀の社会と公衆衛生」とし、これまでの人間（社会）のあゆみと歴史的な概括の上に立って、今世紀の社会を展望し、起こり得ることを可能な限り予測し、公衆衛生のあり方と、先見性に富む施策と活動と方法論を考え、そして今なすべきこと、できることを明確にしていく、そのような機会にしたいと考えております。そのために、特別講演としては、河合隼雄先生（国際日本文化研究センター 所長）に「21世紀の（人間）社会の課題と展望」に関するご講演を、米本昌平先生（三菱化学生命科学研究所科学技術文明研究部 部長）に「21世紀の科学文明の展望と課題」に関するご講演をお願いしており、多大なる示唆を与えていただければと思っております。

シンポジウムは「21世紀の社会と公衆衛生」を具体的に掘り下げるために、「21世紀の公衆衛生を考える ―健康福祉水準・制度・活動上の課題と展望―」、「ヘルスプロモーションの現状と課題（健康日本21など）」、「心の健康と社会」、「健康危機管理と社会/環境のアセスメント」、「遺伝子の世紀の光と影」、「化学物質と社会/環境システムと健康」に関する6つを計画しておりさらにこれらに関連した特別講演も予定しています。

また、最終日に「社会における公衆衛生学の使命と学会の役割―目指すべき方向と教育・研究・社会活動―」に関するパネルディスカッションを計画しており、関連学会等の参加も求め、公衆衛生（学）の分化と総合や、公衆衛生学の統合的理念、人材の育成や教育・研究・社会活動等について討論したいと存じております。

また、その他に教育講演、奨励賞受賞者講演、自由集会を予定しており、一般演題は、口演と示説を用意いたしました。一題でも多くの演題をおよせいただければ幸いです。

本年は21世紀の初頭にして第60回の総会でもありますことから、学会会場に記念ブースを設けました。大学、研究機関、地方自治体、関係機関、市民団体等の出展をお願いし、賑やかに祝いしたいと存じております。また、市民との交流を深め、健康日本21の一層の発展を願って、推進関連事業も予定されており、本学会会員相互及び市民との交流にご利用いただければと存じております。

総会の諸会場は、サポート高松として整備中の高松港湾地区を中心としています。すべてJR高松駅より数分程度と非常に便利なところに位置しており、また、学会場からは風光明媚な瀬戸内海をごらんいただけます。讃岐名物と言えばうどんをはじめ、多くの名産品がございますし、瀬戸内海の魚も、讃岐コーチンも美味で、是非ご賞味いただき、また、栗林公園、屋島、琴平、瀬戸大橋、小豆島と観光名所も多く、十分に香川をご堪能いただければと存じます。

総会関係者一同、香川での総会が心に残る意義深いものとなりますよう運営に心がけていきたいと存じます。皆様方のご支援ご協力を賜りますようお願いして、学会長の就任挨拶といたします。